

第 28 期登山学校【山の楽しみ方・雪山入門】 レポート

1、1/12の山を楽しむ会の、感想と学んだことの報告いたします。

今回は、大きな反省点はありませんでしたが、感想として、山で食べるご飯は、家やお店で食べるより、とても美味しいと感じました。

登山においても、今までの山とは違い、コースタイムも、3時間、累積標高差も300メートルと、あっという間に山頂についてしまいました。

お天気も、山々や海が見えて、気温もさほど寒くなく、快適でした。家族連れや普段着で登るハイカーもたくさんいました。

いろいろな山の楽しみ方があるんだなと感じました。

私たちのグループは、寄せ鍋を作りましたが、予算面も1000円以下で、とても美味しく楽しい山行になりました。

今後、個人的にも、このようなヤマメシのハイキングに行ってみたいと思いました。S. K記

2、昨日はありがとうございました。

弘法山、権現山(鍋会)、昨年と2回目でした。皆様と鍋を用意して、山々を見ながら外で食べる鍋は格別でした。仲間で温かい食事をする事はめったにない機会なので、楽しく有難いと感謝しております。他の班の味見をするのも楽しかったです。

今回は初の班長でした。分担を決めたり、道をヤママップで確認したり、大変だけど力がつくのでやれて良かったです。積極的に係はやるようにしたいと思いました。今日は会社で同期の友達の3回忌だったのですが、山登りなど健康で好きなことかできるのは幸せなんだなと考え深かったです。

来月は雪山でまた楽しみです。これからもよろしくお願い致します。体力づくり頑張ります。K. N記

3、■雪山机上講座

小松さんの装備を、実際に見せて頂き、とても勉強になりました。

アイゼンの仕組みを理解できていなかったのが、全てのタイプで現物を見せて頂き、理解が深まりました。

■弘法山

これまで、登山時の食事は、カップ麺でしたが、こんなに美味しい食事が作れるなんて、登山の世界観が広がりました！予算3,000円/人は、高すぎることに気が付き、今後、パーティーで山に行くときは、料理も計画しようと思います！

K. M記

4、＜机上の感想＞

雪山の装備や服装を実際に見せていただき、またワカン装着の練習も大変参考になった。

その前におこなったテント張りの練習も、テントを持っておらず購入を迷っている私にはとても勉強になった。DK シェルターは絶対購入します！

＜山行の感想＞

3班は「おでん」で、簡単な調理だったが、私としては好きなおでんを一度山で食べてみたいと思っていたので、実現できてよかった。

また、澤藤さんが前日の打ち合わせで「きりたんぽを持っていく」と言っていたので、「おでん」の素材として「きりたんぽ」を持ってきてくださるのかと思っていたが、「きりたんぽ鍋」3～4人前を用意して下さった。調理器具から食材まで、大荷物を一人で持ってきていて大変驚いた。しかしとてもおいしく、皆からも好評で、おでん同様完食となった。

天気も思ったよりよく、途中雲を被ってはいたが富士山も見ることができ、無事終了できてよかった。運営委員の方々には調理器具や食材のご用意、どうもありがとうございました。H. T記

5、【山を楽しむ基礎知識&雪山机上講座】

実際に運営委員の方々の装備を見せていただき、テントは実際に組み立ててみるところまで体験させていただきました。

講習は広くて平らで屋内の部屋ですが、それでも組み立て途中のテントポールを気付かないうちに振り回しているような感じになってしまったり、何より時間がかかったりと、とても大変で良い体験になりました。また、片付けも同じように難しく、持ってきた時と同じ状態にコンパクトにまとめることも大変でした。実際はスペースが狭く傾斜があったり岩でゴツゴツしていたり天気が悪いかもしれません。テントを担いで登れる体力があるかとか寝る時寒くないかなどは考えたことはありましたが、その他にも注意すべきことがたくさんあることをが分かり良い勉強になりました。

また雪山はアイゼンやピッケルなどの道具の他にも服装(レイヤリング)も重要で、何か一つ欠けるだけでも命取りになることを学びました。手袋の予備は欠かせませんね！まずはどの山に何を目的で行くのかで、必要な装備を見極めて揃えていきたいです。個人的にはふかふかの雪の上をスノーシューで散歩してみたいです。

【山を楽しむ実技】

大勢で山の頂上でいただく山ご飯はとても美味しかったです！天気にも恵まれ、他班の鍋料理も最高。大きくて重い調理道具を用意して下さった運営委員の

方々、ありがとうございました。ここまで大勢で行くことはなかなかないと思いますが、時間がある登山の時はゆっくり時間を取って山での食事を楽しんでみたいです。M. N記

6、机上：

まずテントの種類の違いや張り方を体験した。テントにもシングルとダブルの違いがあること、入り口がどの面にあるかなどの特徴の違いを教わった。フレームの組み方では、狭いテント場で周囲に迷惑をかけないように気をつけながら、また折れないように丁寧に組み立てなければならないと思った。テントごと吹き飛んで亡くなった事故の話聞いたときは、テントを張る位置や天候にも注意が必要と思った。DK シェルターの汎用性の高さに感動した。災害時にも役に立つように思った。

次にメインの2月の雪山講習実技に向けての机上講習。

とにかく肌を出さないこと。凍傷にならない対策、濡れない対策をしたいと思います。凍傷で指や鼻がなくなるのは武勇伝ではなく、親や家族を悲しませることになると思う。体験するまで分からないことも多いと思うが、講義の内容を思い出してしっかり守りたい。

アイゼンやワカンの着け方を体験したが、当日パーティーの迷惑にならないように、スムーズに装着できるよう動画などでも見直したい。

雪崩に遭いたくはないが、被害を少しでも減らしたり捜索に協力できるよう、ビーコンの操作も覚えたい。またとっさには難しいかもしれないが、危険な箇所を通るときはザックのベルトを外して通ること、雪の中で体の前になるべく空気の層を作れるようイメージトレーニングしておきたい。

雪山は他の季節の雪のない山とは全然条件が違い、雪のない山とは準備も計画も変わってくる。怖いなどの思いもあるが、きちんと準備して、天候などに恵まれた雪山の別世界を見てみたいと思った。

実技：

登山学校では、安全登山というテーマのもと、様々な体験をさせてもらった。地図読み講習の時のアドベンチャーも、瑞牆山でのヘッドライトをつけての山行も、テントの張り方も、クライミングの体験も、雪山も、どれも一人で遭難して初めて体験するのは不安で本当に恐ろしい。登山学校の中で、さわりをかじっただけでも、体験させてもらえたことが、いつか役に立つかもしれないと思う。今回の鍋の会も、山での楽しみの幅が広がる機会となった。

山の楽しみ方・雪山入門記録報告

1班 S. K記

目的：山を楽しむ会

日時：2025年1月12日(日)

山域：丹沢 弘法山 お天気：曇り時々晴れ

スケジュール実績：

9:30：鶴巻温泉駅集合

9:45：鶴巻温泉駅発

10:00：弘法山登山口

10:13：吾妻山山頂

10:21：出発

10:55：善波峠

11:13：弘法山山頂

11:24：出発

11:33：権現山(昼食)

13:36：出発

13:57：弘法山公園登山口

14:31：秦野駅

昼食：寄せ鍋 魚(たら)、肉(鶏肉)、白菜1/4、ねぎ3本、人参2本、きしめん3玉、水菜、だし、ヤクミ、ポン酢、ガス缶、ガスヘッド、鍋、

お玉、お湯 各自500ミリ

箸を食器は、各自 食材やガスなどは分担して買い出し、持参した。

感想

心配していたお天気も、雨に降られることなく、時折、晴れ間の見える天気となった。

コースの見晴らしは良く、相模湾や、江の島などが、山頂や登山道から見えた。

首都圏から近く、駅から登れる、アクセスの良さから、多くのハイカーでにぎわっていた。

権現山の山頂付近には、テーブルがいくつかあり、班ごとに、持ち寄った昼食を楽しんだ。

私たちのグループは、寄せ鍋。山で食べるご飯は、一段と美味しく、また冬の寒さも温かい鍋で、忘れるほどで身体が温まったあ。

また、他の班の、おでんや、キムチ鍋、きりたんぽなども試食させていただき、とても楽しい山行となりました。

2班 A. N記

山行名：「山を楽しむ基礎知識」講習登山

日時：令和7年1月12日（日）

集合場所：鶴巻温泉駅

コース：

スタート鶴巻温泉駅 9:40-10:10 吾妻山 10:18-10:54 善波峠 10:57-11:11 弘法山
11:17-11:27 権現山（弘法山公園） 13:36-
14-30 水無川川原にて解散

天気は晴れ時々曇り。週の頭の天気予報では、寒くなり雨や雪になるとの予報もあったが、当日の日差しはうららかであたたかかった。

鶴巻温泉駅ロータリーで準備体操をして班ごとに出発した。先頭は向井班長。鶴巻温泉街を抜けて急な坂の先に登山口があった。登山口から5分程登ると尾根道に到達し、分岐になっていて、「左弘法山ニ至ル」と書かれた石の道標があった。

ここで各自ウェアを調整し、水分補給した。私も思っていたより暑くなったので1枚ウェアを脱いだ。

この尾根道に、なぜか自転車が置かれていて不思議とおもしろかった。尾根道沿いを、どんな山に登ったとか、いつから登山を始めたとか、パーティーのみんなと語り合いながら歩いた。全員話しながらも息が上がることなく、ほぼコースタイム通りに歩くことができた。

吾妻山から弘法山までの道中、秦野の町や相模湾が見え、尾根道からすぐのところに民家があった。

弘法山は名前の通り弘法大師がまつられていた。余談だが、水無川など秦野には弘法大師に縁の言い伝えがいくつもあらしい。

果たして、権現山までもペースを崩すことなく順調にたどり着くことができた。さて、今回のテーマの「山を楽しむ」として、権現山（弘法山公園）で班ごとに鍋を囲むという一大イベントが催された。

年末から班ごとに案を出し合い、役割分担し、スムーズに企画準備できたのは、向井班長の取りまとめや運営委員含むパーティー全員が積極的協力的に企画に参加したことによると思う。

2班はキムチ鍋を作ったのだが、想像以上に美味しい鍋であった。

1班3班の鍋も味見させてもらい、それぞれに鍋の味以上の味わい深さや喜びを感じた。

天気に恵まれ、自らの足で歩いた後に、自然の中の開放的な空間で、自分たちで作ったあたたかい鍋を、みんなで乾杯して食す。雰囲気でも美化されたかもしれないが、鍋本来の味以上に美味しかったように思う。こんな「山を楽しむ」機会を味わえたこと、僥倖であった。

3班 H. T記

<山行の記録>

09:40 鶴巻温泉駅発

10:05 吾妻山

10:40 善波峠

11:00 弘法山

11:15 権現山着 山飯体験

13:30 権現山発

14:15 秦野駅付近の河原にて解散